

## 理工学研究科土木工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル A

構造学を主要な専門分野として幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考	
基礎科目	弾性波動特論 1	2	選択	共通	6単位を修得する。	
	風と構造物	2	選択	共通		
	計測と解析	2	選択	共通		
	土木基礎構造物の設計・施工	土木基礎工学特論	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通	
		環境学特論	2	選択	共通	
	水災害と水環境	水災害と水環境	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		水文気象学特論	2	選択	共通	
		国土情報工学特論	2	選択	共通	
	社会基盤整備と市民参加	社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		交通ネットワーク解析	2	選択	共通	
		弾性波動特論 2	弾性波動特論 2	2	選択	
数値解析特論	2		選択	共通		
コンクリート技術特論	2		選択	共通		
文献研究及び実験研究 1 A	文献研究及び実験研究 1 A	3	必修	1		
	文献研究及び実験研究 1 B	3	必修	1		
	文献研究及び実験研究 2	8	必修	2		

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。

## 理工学研究科土木工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル B

防災学を主要な専門分野として幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考	
基礎科目	土木基礎構造物の設計・施工	2	選択	共通	6単位を修得する。	
	土木基礎工学特論	2	選択	共通		
	コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通		
	弾性波動特論 1	風と構造物	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		計測と解析	2	選択	共通	
			2	選択	共通	
	環境学特論	水災害と水環境	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		水文気象学特論	2	選択	共通	
		数値解析特論	2	選択	共通	
			2	選択	共通	
	国土情報工学特論	社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
		交通ネットワーク解析	2	選択	共通	
		2	選択	共通		
専門分野	地震地盤工学特論	2	選択	共通	いずれか 4 単位以上を選択必修とする。	
	地盤改良と補強法	2	選択	共通		
	流域水防災	2	選択	共通		
	文献研究及び実験研究 1 A	3	必修	1		
	文献研究及び実験研究 1 B	3	必修	1		
	文献研究及び実験研究 2	8	必修	2		

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。

## 理工学研究科土木工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル C

環境学を主要な専門分野として幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考
基礎科目	環境学特論	2	選択	共通	6単位を修得する。
	水災害と水環境	2	選択	共通	
	水文気象学特論	2	選択	共通	
	数値解析特論	2	選択	共通	
	弾性波動特論 1	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
	風と構造物	2	選択	共通	
	計測と解析	2	選択	共通	
	土木基礎構造物の設計・施工	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
	土木基礎工学特論	2	選択	共通	
	コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通	
	国土情報工学特論	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
	社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通	
交通ネットワーク解析	2	選択	共通		
専門分野	流体拡散論	2	選択	共通	いずれか 4 単位以上を選択必修とする。
	流域水防災	2	選択	共通	
	環境工学特論	2	選択	共通	
	文献研究及び実験研究 1 A	3	必修	1	
	文献研究及び実験研究 1 B	3	必修	1	
	文献研究及び実験研究 2	8	必修	2	

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。

## 理工学研究科土木工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル D

計画学を主要な専門分野として幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考
基礎科目	国土情報工学特論	2	選択	共通	6単位を修得する。
	社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通	
	交通ネットワーク解析	2	選択	共通	
	弾性波動特論 1	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
	風と構造物	2	選択	共通	
	計測と解析	2	選択	共通	
	土木基礎構造物の設計・施工	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
	土木基礎工学特論	2	選択	共通	
	コンクリート構造物の維持管理	2	選択	共通	
	数値解析特論	2	選択	共通	いずれか 2 単位以上を選択必修とする。
環境学特論	2	選択	共通		
水災害と水環境	2	選択	共通		
専門分野	地域計画特論	2	選択	共通	いずれか 4 単位以上を選択必修とする。
	社会資本整備特論	2	選択	共通	
	交通行動分析特論	2	選択	共通	
	文献研究及び実験研究 1 A	3	必修	1	
	文献研究及び実験研究 1 B	3	必修	1	
	文献研究及び実験研究 2	8	必修	2	

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。

## 理工学研究科土木工学専攻 履修モデル例

## 履修モデル E

主要なすべての専門分野に精通する幅広い高度な土木工学の専門知識を有する技術者・研究者を目指す場合

科目区分	専門分野 (部門)	授業科目	単位	必修／選択 の別	標準 履修年次	備考	
基礎科目	構造学	弾性波動特論 1	2	選択	共通	いずれか 4 単 位以上を選択 必修とする。	
		風と構造物 計測と解析	2 2	選択 選択	共通 共通		
専門分野		弾性波動特論 2	2	選択	共通		
		構造解析学特論 1	2	選択	共通		
基礎科目	防災学	土木基礎構造物の設計・施 工	2	選択	共通		いずれか 4 単 位以上を選択 必修とする。
		土木基礎工学特論	2	選択	共通		
		コンクリート技術特論	2	選択	共通		
		コンクリート構造物の維 持管理	2	選択	選択		
専門分野		地震地盤工学特論	2	選択	共通		
		地盤改良と補強法	2	選択	共通		
基礎科目	環境学	環境学特論	2	選択	共通	いずれか 4 単 位以上を選択 必修とする。	
		水災害と水環境	2	選択	共通		
		水文気象学特論	2	選択	共通		
		数値解析特論	2	選択	共通		
専門分野		流体拡散論	2	選択	共通		
		流域水防災	2	選択	共通		
基礎科目	計画学	国土情報工学特論	2	選択	共通	いずれか 4 単 位以上を選択 必修とする。	
		社会基盤整備と市民参加	2	選択	共通		
		交通ネットワーク解析	2	選択	共通		
専門分野		地域計画特論	2	選択	共通		
		社会資本整備特論	2	選択	共通		
		交通行動分析特論	2	選択	共通		
		文献研究及び実験研究 1 A	3	必修	1		
		文献研究及び実験研究 1 B	3	必修	1		
		文献研究及び実験研究 2	8	必修	2		

\*この履修モデルどおりに科目履修をしなければならないわけではなく、履修の詳細については大学院要覧及び履修の手引きを熟読すること。